

芸西村簡易水道事業業務継続計画策定委託業務 特記仕様書

1. 業務名

芸西村簡易水道事業業務継続計画策定委託業務

2. 業務目的

地震による突発大災害時は、芸西村土木環境課が管理する水道施設及びその機能に被害をもたらすほか、リソース（職員、資機材、ライフライン等）にも影響を及ぼす。しかし水道管理者は、このような制約を受ける条件かにおいても業務を継続しなければならない。

本業務は、被災時での現状の体制の課題を抽出・整理するとともに、被災後において速やかにかつ高いレベルで水道が果たすべき機能を維持・回復するための水道管理者の対応をとりまとめ、「芸西村簡易水道事業業務継続計画」（以下「水道 BCP」という。）を策定することを主たる目的とする。

3. 水道事業等の概況

- ・計画給水人口 : 3, 790 人
- ・計画1日最大給水量 : 3, 736 m³/日
- ・取水施設 : 2 箇所
- ・浄水施設 : 1 箇所
- ・配水施設 : 4 箇所
- ・管路施設 : 56.7 km

4. 業務内容

4-1 水道 BCP 策定業務

(1) 基本方針

水道 BCP 策定するにあたり、本村における水道事業の現状及び関連計画等の確認を行う。

① 関連計画等の確認

上位の本村の BCP、防災関連計画等の確認を行う。

② 本村の水道の運営体系や水道施設等の把握

水道事業の運営体系及び所轄する施設を確認する。

③ 具体的な対策状況の確認

- ・復旧資材の備蓄状況等
- ・周辺自治体や民間企業等との災害時の協定締結状況

- ・本村の水道施設の耐震診断や耐震化状況

(2) 被害想定

① 災害規模の設定

地震被害、地震津波被害について地域防災計画や浸水想定などの関連計画に基づいて設定する。

② 水道施設、職員および関連するライフライン等の被害想定

「【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定（平成25年5月15日公表）」より、被害想定を行う。

(3) 非常時対応の検討

① 優先実施業務の選定

本村の水道業務のうち、発災時に業務遅延することで社会的影響等が大きいものを抽出・分析し、その影響度により優先実施業務を選定する。

② 対応目標時間の設定

優先実施業務の影響度分析では、各業務に関する「許容中断時間」を把握し、「対応の目標時間」を設定する。

③ 災害時の体制

「災害規模等の設定と被害想定」で設定したケースにおいて、職員参集率を想定し、災害時の体制を設定する。

④ 現有リソース等の設定

各拠点ごとに不足するリソース（ヒト、モノ、情報、資材など）を選定し、確保可能なリソースを設定する。

(4) 非常時対応計画

① 対応手順の時系列的整理

非常時対応計画は、優先実施業務を行うための対策手段を時系列的に整理して作成する。

② 帳票様式等の作成

非常時対応計画の帳票様式を作成する。

③ 想定被害事項への対応検討

基幹施設が被災した場合における応急対策を検討して応急対策計画を策定する。

(5) 事前対策

① 事前対策時期及び実施項目の整理

施設の耐震化や防災体制の強化などにより発災後の業務量を軽減させ、優先実施業務の

対応時間を早めるために、事前対策計画を策定し、事前対策の実施予定時期と実施項目を明確にする。

(6) 訓練・維持改善計画

① 訓練計画の策定

訓練計画は、水道 BCP を定着させ、発生後の対応手順を確実に実行していくために定期的に実施しするための計画とする。また訓練計画において各訓練の目的、時期、参加者、内容等を明確にする。

② 維持改善計画の策定

維持改善計画は、水道 BCP の最新性の保持、計画のレベルアップのために、定期的に水道 BCP の内容を見直すことが可能なもの（PDCA サイクル）とし、点検項目の抽出を行う。

(7) 報告書のとりまとめ

検討結果をとりまとめて「芸西村簡易水道事業業務継続計画」を策定し、報告書のとりまとめを行う。

(8) 設計協議

設計協議は、着手時の初回打合せ、中間打合せ、最終打合せの3回を標準とする。

(9) 成果品の提出

- ① 報告書 1部
- ② 打合せ議事録 1部
- ③ 電子データ 1部